

2 評価シート等

「生涯学習の充実に向けての取組」

- ・ 担当課による評価総括表【様式第1】・・・・・・・・・・P12
- ・ 担当課による個別事業点検・評価シート【様式第2】・・・・・・・・P14
- ・ 教育行政評価会議意見聴取報告シート【様式第3】・・・・・・・・P24
- ・ 教育委員による二次評価シート【様式第4】・・・・・・・・・・P26

3 実施要綱等

- ・ 教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱・・・・・・・・・・P28
- ・ 教育行政評価会議設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・P29

【様式第2】

教育委員会活動の点検・評価総括表《担当課による評価総括表》

点検評価対象 テーマ	生涯学習の充実に向けての取組	担当課	生涯学習課 青少年課
---------------	----------------	-----	---------------

1 対象テーマの現 状、考え方等	<p>【現状】 市民が、生涯を通じて、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会の実現のため、「市民一人 一芸・一学習・一スポーツ」というモットーのもと、市の生涯学習の充実を図り、生涯学習に支えられた市民参画のまちづくりを推進している。</p> <p>【基本的な考え方】 現代的課題、地域課題への対応の視点から生涯の各期における学習機会を拡充するとともに、市民の自主的な学習活動を支援し、学習成果を生かしたボランティアの育成・活用、地域づくりを促進しながら、生涯学習推進体制の充実を図る。 更に、生涯学習プラザや地域公民館、校区公民館等の機能充実など学習環境を整備し、市民全体の生涯学習を推進する。</p>
2 対象テーマを取り 巻く環境	<p>生涯学習プラザ、地域公民館(14)、校区公民館(79)、かごしま文化工芸村、勤労女性センター、勤労青少年ホーム等において講座の開設、研修会の実施、自主学習グループの育成、文化祭・体育祭の開催等市民を対象にした生涯学習の取組を行っている。 学習成果の活用のためのボランティアの育成、生涯学習推進のための生涯学習リーダーや関係団体の育成等を行っている。</p> <p>【現況を示す数値】 ○ 市民一人あたりの生涯学習プラザと地域公民館の利用状況: 2.6回(年間) ○ 校区公民館で行われている社会学級(成人学級・女性学級)の開設割合: 88% ○ 小・中学校における学校支援ボランティア実施校の割合: 38% ○ おやじの会の組織率: 88%</p>

3 成果を測定する 指標	指標名(単位)	算式等	H21年度の状況		
			全国平均	本市平均	差
1	生涯学習センター(本市の生涯学習プラザにあたる)及び公民館(類似施設を含む)の一人当たりの年間利用回数	市民(国民)の施設利用の平均回数[利用者数÷市民(国民)数](回)	1.9	2.6	0.7
2	1公民館当たりの講座の開設数	1公民館が開設している講座の平均[講座数÷公民館数](講座)	29	31	2

5 担当課による評 価結果		対象テーマの各事業は順調に推移しており、現状の取組みで良い。
	○	対象テーマの各事業は概ね成果をあげているが、事業によっては達成度又は方向性の見直しが必要である。
		対象テーマの各事業の進捗に遅れが見られ、効果の低い事業を見直す必要がある。
		対象テーマの各事業の進捗が大幅に遅れており、抜本的に見直す必要がある。

6 担当課による総 評	<p>本市では、生涯学習の中核施設である生涯学習プラザをはじめとして、14の地域公民館、79の校区公民館、かごしま文化工芸村、勤労女性センター、勤労青少年ホーム等で生涯学習の充実のために講座や研修会等の様々な事業を実施している。特に、校区公民館においては、学校の敷地内に建物がある特徴を生かして、校区公民館運営審議会が審議機関の機能と実施機関の機能を併せ持ち、校区の生涯学習やコミュニティの推進のために事業等を行っている。</p> <p>平成21年度は、ほとんどの活動の項目で目標値を上回っており、社会教育施設の利用者数も前年度を上回っている。特に、14の地域公民館は、年間利用者数が110万人を超え、市民の学びの場として重要な役割を果たしている。</p> <p>生涯学習プラザや地域公民館等で行われている講座については、それぞれの施設の特色を生かした講座や市民のニーズに応じた講座等を実施している。一方講座応募総数は増加しているが、定員割れの講座もある。講座内容や講座のネーミング、講師の工夫等を行うとともに、広く市民が受講できるように広報活動を進めていく必要がある。</p> <p>生涯学習のさらなる推進のために、学習機会の拡充はもちろん、学習成果の活用のためのボランティアの育成を図るとともに、生涯学習リーダーや関係団体の育成を進めてまいりたい。</p>
-------------------	--

4 (対象テーマ名を記入)に関する事務事業の評価

分類	No.	事 務 事 業 名			評価(下記参照)				
		主な活動・成果指標(単位)	H20実績値	H21目標値	H21実績値	達成度	方向性		
学習 機 会 の 充 実	1	生涯学習プラザにおける取組			406,942	400,000	402,509	A	a
		生涯学習プラザ利用者数(人)							
	2	地域公民館における取組			1,058,635	1,100,000	1,176,232	A	a
		地域公民館利用者数(人)							
	3	校区公民館における取組			86%	100%	88%	B	a
		社会学級(成人学級・女性学級)の開設割合(%)							
	4	かごしま文化工芸村における取組			20,301	20,000	20,754	A	a
		かごしま文化工芸村利用者数(人)							
5	勤労女性センターにおける取組			46,794	50,000	47,842	A	a	
	勤労女性センター利用者数(人)								
6	勤労青少年ホームにおける取組			63,821	60,000	56,582	A	a	
	勤労青少年ホーム利用者数(人)								
学習 成 果 の 活 用	7	ボランティアの育成			619	585	635	A	b
		ボランティア講座受講者数(人)							
	8	学校支援ボランティア事業			15	30	30	A	a
学校におけるボランティア実施校(校)									
推 進 体 制 の 充 実	9	生涯学習リーダーの育成			485	500	525	A	b
		生涯学習リーダー研修会受講者数(人)							
	10	関係団体の育成、連携			98	117	103	B	a
おやじの会の組織数(団体)									

【評価】

達成度	内 容
A	目標値に対して、実績値が同じか上回っている。
B	目標値に対して、実績値が若干下回っている。
C	目標値に対して、実績値が相当下回っている。

方向性	内 容
a	現状の取組みの方向性は良く、このまま事業を継続する。
b	現状の取組みの方向性は良いが、事業手段の改善等を行う必要がある。
c	事業の統廃合を含めた見直しが必要である。

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ:生涯学習の充実に向けての取組】

(No.1)

事業名	生涯学習プラザにおける取組	担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 本市の生涯学習の中核施設として、講座や施設利用をとおして学習と交流の場や機会を提供するとともに、生涯学習に関する様々な情報を提供するなど、市民の生涯にわたる学習活動の支援を行うことにより、本市における生涯学習の総合的な推進を図る。			
	【事業の概要】 (1) プラザ講座の実施 ・市民のさまざまな学習ニーズに応える講座の開設 ・さまざまな学習課題や地域課題についての講座の開設 ・青少年、親子、高齢者等幅広い年齢層を対象にした講座の開設 (2) 人権啓発講演会の開催 ・人権問題について正しい理解と認識を深めるための人権啓発講演会の開催 (3) 大学、企業等との連携による協働講座の実施 ・大学等高等教育機関、民間教育機関、企業等との連携 ・成人のさまざまな学習ニーズに対応した学習機会の提供 (4) 施設利用の拡大 ・プラザの施設、設備及び備品の提供			
2 主な活動・成果指標	指標名	19年度	20年度	21年度
	○ 年間利用者数 (単位:人)	[目標値] 400,000人 [実績値] 414,005人 <達成率> 103%	[目標値] 400,000人 [実績値] 406,942人 <達成率> 101%	[目標値] 400,000人 [実績値] 402,509人 <達成率> 100%
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)	◎	市民の生涯学習の意欲向上につながっている。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)	◎	施設利用者数や講座応募者数がいずれも目標値を超え、市民ニーズに適合している。	
4 課題等	効率性	○	講座への応募者増に伴い、講座数を増やしてはいるが十分に対応できていない。また、プラザの利用者数は年々減少している。	
	講座応募総数は増加しているが、定員割れをしている講座もある。市民ニーズに的確に応えられるように講座内容の検討が引き続き必要である。 講座以外の施設利用者拡大が課題である。 抽選に漏れて講座を受講できなかった市民への手立てとして、他施設の講座を紹介するなど、工夫する必要がある。また、受講後に学習意欲を継続できるような講座内容になっているか評価する手立てが必要である。			
5 平成22年度予算額	136,523千円	平成22年度の取組み	受講者や講師、利用者などの意見を生かしながら学習内容の改善を図り、受講者の満足する講座をめざす。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	ほとんどの講座は定員を満了し、利用者からも喜ばれているが、多くの応募者のニーズに応えるため、講座数、定員、内容等の改善を図っていくことが必要である。
	A	a		

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.2)

事業名	地域公民館における取組	担当課	生涯学習課				
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 地域住民のニーズを把握し、地域の特色を生かして、講座や研修会の開設、学術及び文化に関する各種事業等を行い、住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。						
	【事業の概要】 (1) 公民館講座・研修会の実施 ・ 市民の学習ニーズや地域課題等に対応する講座・研修会の開設 ・ 青少年、親子、成人、高齢者等を対象にした講座・研修会の開設 ・ 市民の学習成果をいかした「得意技講座」等特色のある講座の開設 (2) 地域総合文化祭・体育祭等の実施 (3) 自主学習グループ活動の充実 (4) 企業内生涯学習セミナーの実施						
2 主な活動・成果指標	指標名				19年度	20年度	21年度
	○ 年間利用者数 ※ 20年10月 谷山北公民館開館 (単位：人)				[目標値] 1,000,000人 [実績値] 984,936人 〈達成率〉 98%	[目標値] 1,000,000人 [実績値] 1,058,635人 〈達成率〉 105%	[目標値] 1,100,000人 [実績値] 1,176,232人 〈達成率〉 117%
○ 公民館講座の応募者数 ※ 目標値は前年度応募者数、実績値は当該年度応募者数 (単位：人)				[目標値] 11,041人 [実績値] 12,102人 〈達成率〉 110%	[目標値] 12,102人 [実績値] 12,518人 〈達成率〉 103%	[目標値] 12,518人 [実績値] 15,317人 〈達成率〉 122%	
				【決算額】 251,713千円	【決算額】 276,452千円	【決算額】 289,072千円	
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		◎	市民の生涯学習の意欲向上につながっている。			
	必要性(市民ニーズとの適合性)		◎	施設利用者数や講座応募者数がいずれも目標値を超え、市民ニーズに適合している。			
	効率性		○	講座への応募者増に伴い、講座数を増やしているが十分に対応しきれていない。定員に満たない講座への受講者発掘が必要である。			
4 課題等	相対的に応募者が増加しているが、定員割れをしている講座もある。市民のニーズに的確に応えられるよう講座内容についての検討が引き続き必要である。 自主学習グループの高齢化、規模縮小が見られる。学習成果を活用する場を設ける等、学習意欲の継続と向上を図る手立てが必要である。 また、受講後に学習意欲が継続できるような講座内容になっているか検討する必要がある。						
5 平成22年度予算額	244,180千円	平成22年度の取組み	それぞれの公民館が、地域の実態を反映しつつ、地域の特色を生かした講座の開設を推進する。				
6 評価	達成度	方向性	評価理由	市民の生涯学習への関心や意欲は高いので、講座終了後のアンケートや市民から寄せられる意見等を参考にしながら、学習継続の意欲を促すなどの内容改善を図っていくことが必要である。			
	A	a					

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.3)

事業名	校区公民館における取組		担当課	生涯学習課
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 校区公民館は、管理を学校に、運営を校区公民館運営審議会に委ねた、本市独自の社会教育施設である。各小学校区(79校区)に設けられた施設の特徴を生かして、地域住民の生涯学習を推進するとともに、町内会やあいご会、PTA、婦人会等の関係機関・団体と連携して、青少年の健全育成や地域課題を解決するための校区コミュニティ活動の推進を図る。			
	【事業の概要】 (1) 社会学級(女性学級・成人学級)の実施 ○ 成人学級：時代の変化に対応できる能力や豊かな社会生活に必要な教養の向上を図る。 ○ 女性学級：女性の自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、その資質や能力の向上を図る。 (2) 自主学習グループの充実 (3) 校区公民館で行われている他の事業 ○ 校区文化祭や校区運動会等の事業 ○ 青少年健全育成実行委員会開催や子ども会の育成、校外補導など健全育成に関する事業 ○ 夏祭りや市民あいさつ運動、花いっぱい運動などふるさとづくりのための事業 ○ 町内会・あいご会などの役員研修、ボランティアの発掘と活用、グループ・団体の育成等			
2 主な活動・成果指標	指標名	19年度	20年度	21年度
	○ 成人学級を開設している校区数(単位:校区)	[目標値] 79校区 [実績値] 66校区 〈達成率〉84%	[目標値] 79校区 [実績値] 69校区 〈達成率〉87%	[目標値] 79校区 [実績値] 71校区 〈達成率〉90%
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)	△	少しずつではあるが、社会学級を開設している校区数が増えてきている。自主学習グループの公民館利用は年々減っている状況である。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)	○	様々な学習活動をとおして、地域の生涯学習を推進している。	
	効率性	◎	学習内容を工夫して充実した学習等を行っている。	
4 課題等	すべての校区で成人学級や女性学級が開設されることを目指しているが、様々な実情により開設できていない校区がある。 学習内容の充実を図り、これまで以上に地域の生涯学習の推進に努める必要がある。 自主学習グループに対する支援を充実させるとともに、各種講座受講生に自主学習グループへの登録を進める。			
5 平成22年度予算額	5,793千円	平成22年度の取組み	成人学級、女性学級を開設していない校区へ啓発を行い、開設できる環境をつくる。また、自主学習グループへの支援の充実を図る。校区公民館運営審議会との連携を深め、青少年健全育成やコミュニティ活動等の支援を行う。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	それぞれの校区ごとに工夫して、成人学級や女性学級を実施し、地域の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進にも努めている。 校区公民館を中心としたまちづくりの取組を支援していく必要がある。
	B	a		

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.4)

事業名	かごしま文化工芸村における取組	担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 緑豊かな自然の中で市民が陶芸、木工芸等の創作活動に親しみ、仲間づくりを行い、趣味・特技を伸ばし、豊かな生活を送れるよう支援する。			
	【事業の概要】 (1) 陶芸アトリエ講座 陶芸の初心者から中・上級までの技能に応じた講座の開設 (2) 木工アトリエ講座 成人や子ども、女性向け講座、親子講座など様々な受講生が参加できるような講座の開設 (3) 自由工房講座 草木染めや七宝焼きなど多種多様な手芸作品を製作するための講座の開設 (4) 工芸村協力員養成講座 ボランティアとして協力する補助員、イベント・講座の指導補助者を育成する講座の開設 (5) イベント 春まつり(4月)や秋まつり(11月)の実施 (6) 広報誌 かごしま文化工芸村だよりの発行(年2回)			
2 主な活動・成果指標	指標名	19年度	20年度	21年度
	○ 年間利用者数 (単位:人)	[目標値] 20,000人 [実績値] 20,002人 〈達成率〉 100%	[目標値] 20,000人 [実績値] 20,301人 〈達成率〉 101.5%	[目標値] 20,000人 [実績値] 20,754人 〈達成率〉 103.7%
	○ 講座応募者数(単位:人) ※ 目標値は前年度応募者数、実績値は当該年度応募者数	[目標値] 1,900人 [実績値] 1,939人 〈達成率〉 102%	[目標値] 1,939人 [実績値] 2,154人 〈達成率〉 111%	[目標値] 2,154人 [実績値] 2,150人 〈達成率〉 99%
		【決算額】 25,857千円	【決算額】 25,707千円	【決算額】 26,102千円
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)	○	創作活動の意欲向上につながっている。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)	◎	陶芸、木工、手工芸等の講座がバランスよく実施され、多くの人が利用している。	
	効率性	◎	職員、指導者、ボランティア等が連携して事業の円滑な推進が図られた。	
4 課題等	創作活動の楽しさを味わってもらうため、専門指導員と連携を図りながら講座内容を充実し、参加者に満足してもらえるような講座の企画運営を続けていく必要がある。 新規利用者の拡充を図るための積極的な広報に努める必要がある。			
5 平成22年度予算額	26,489千円	平成22年度の取組み	新規利用者の拡充を図るため、積極的な広報活動に努め、講座内容の充実を図る。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	創作活動をとおして物づくりの楽しさや交流を深めることは心豊かな生活を送る上で大切なことである。今後も引き続き、新規利用者の拡充や講座内容の充実を図る必要がある。
	A	a		

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.5)

事業名	勤労女性センターにおける取組		担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 働く女性や勤労者家庭の女性が、日々の生活をより豊かに生き生きと過ごすために、家庭や職場に必要な知識や技術を習得し、さらにそれらの活動をとおしてやすらぎを得て、連帯感を培い、女性の福祉の増進に役立てる。				
	【事業の概要】 (1) 生活、教養、文化等の講座の開設 ・市民のさまざまなニーズに応える講座の開設 ・家庭や職場に必要な技術を習得する講座の開設 ・余暇を有意義に過ごし生活を豊かにする講座の開設 (2) 各種行事の開催 ・レク・スポーツ大会 ・勤労女性センター春・秋まつり、講演会、チャリティーバザー ・勤労女性センター活動展 (3) 相談事業 ・キャリアカウンセリング、職業、家庭、育児、教育、消費、介護、グループ活動等の相談 (4) 自主学習グループ等の活動 ・自主クラブ運営研修会、講座運営研修会、講師連絡会等の開催				
2 主な活動・成果指標	指標名		19年度	20年度	21年度
	○ 年間利用者数 (単位：人)		【目標値】 50,000人 【実績値】 46,914人 〈達成率〉 93%	【目標値】 50,000人 【実績値】 46,794人 〈達成率〉 93%	【目標値】 50,000人 【実績値】 47,842人 〈達成率〉 96%
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		○	勤労女性や家庭女性の自己を高める場となっている。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)		◎	女性の社会進出を支援する場や教養・文化の向上を図るための場として利用者数も増加傾向にある。	
4 課題等	効率性		◎	指定管理者制度を取り入れ、講座や各種行事、相談活動等の企画・運営の改善に努めている。	
	講座内容を工夫・改善し更なる充実を図る必要がある。 市民のひろばや勤労女性センターだより、インターネット等で広報を行っているが、今後も、新規利用者の拡充を図るため、企業や職場等への積極的な広報に努める。				
5 平成22年度予算額	33,581千円		平成22年度の取組み	目的に即した講座や事業を推進するとともに、新規利用者の拡充を図るため、各企業等への広報活動に努める。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	女性の自己実現や勤労女性の仕事と家庭の調和に寄与し、総合的な福祉の増進を図るための事業が推進され、利用者数が増加している。今後とも更に新規利用者の拡充や講座内容の工夫改善を図る必要がある。	
	A	a			

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ:生涯学習の充実に向けての取組】

(No.6)

事業名	勤労青少年ホームにおける取組		担当課	青少年課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 勤労青少年の健全な育成と福祉の推進を図るため、各種講座の開設や自主的な活動を支援する。				
	【事業の概要】 (1) 生活、教養、文化等の講座の開設 ・ 前期・中期・後期講座 ・ 短期講座 ・ 一日お試し講座 (2) 各種行事等の開催 ・ スポーツ大会の開催 ・ ボランティア活動の実施 ・ 利用生交流のつどい、ホーム祭 (3) 相談事業の実施 ・ キャリアコンサルタント事業 (4) 教養またはスポーツ活動に取り組む自主クラブの育成、支援				
2 主な活動・成果指標	指標名		19年度	20年度	21年度
	○ 年間利用者数 (単位:人)		〔目標値〕 60,000人 〔実績値〕 65,051人 〈達成率〉 108%	〔目標値〕 60,000人 〔実績値〕 63,821人 〈達成率〉 106%	〔目標値〕 60,000人 〔実績値〕 56,582人 〈達成率〉 94%
	○ 利用登録者数 (単位:人)		〔目標値〕 1,200人 〔実績値〕 1,187人 〈達成率〉 99%	〔目標値〕 1,200人 〔実績値〕 1,219人 〈達成率〉 102%	〔目標値〕 1,200人 〔実績値〕 1,259人 〈達成率〉 105%
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		○	講座やクラブ活動に多くの勤労青少年が活発に参加している。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)		○	勤労青少年の情報交換や憩いの場となっているが、利用者数が減少傾向にある。	
	効率性		◎	指定管理者制度を取り入れ、講座や各種行事、相談活動等の企画・運営の改善に努めている。	
4 課題等	市民のひろばやホームページなどでの広報活動の推進を図る必要がある。 勤労青少年のニーズを把握し、利用者の増、特に男性利用者の増加につながる講座内容等の工夫が必要である。				
5 平成22年度予算額	45,447千円	平成22年度の取組み	勤労青少年ホームにおける各種講座や自主グループ活動の効果的な取組を推進する。		
6 評価	達成度	方向性	評価理由	勤労青少年が知識を身に付け、仲間を増やし、健康づくりにも役立つ講座やクラブにおいては、継続的に利用する者が多く、ニーズに応じた企画運営がなされている。今後は、新規利用者の拡充を更に努めていく必要がある。	
	A	a			

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.7)

事業名	ボランティアの育成		担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 市民の誰もが共に学び、育ち、生きていくことができる社会づくりを目指して、個人やグループ、団体等の学習成果を学校や地域社会に根ざしたボランティア活動として生かすために、その育成と活用を推進する。				
	【事業の概要】 (1) 生涯学習プラザにおけるボランティア育成講座等の開設 ・ ボランティア育成講座(手話、子育て相談講座) ・ パソコンボランティア育成講座 ・ イベントボランティア育成講座 (2) 地域公民館におけるボランティア育成講座等の開設 ・ 市民はつらつ得意技講座 (3) かごしま文化工芸村におけるボランティア育成講座等の開設 ・ 木工、陶芸の技術指導支援ボランティア育成講座				
2 主な活動・成果指標	指標名		19年度	20年度	21年度
	○ 生涯学習プラザにおけるボランティア養成講座の受講者数 (単位:人)		[目標値] 65人 [実績値] 51人 〈達成率〉 78%	[目標値] 65人 [実績値] 54人 〈達成率〉 83%	[目標値] 65人 [実績値] 58人 〈達成率〉 89%
	○ 地域公民館における「市民はつらつ得意技講座」の受講者数 (単位:人)		[目標値] 485人 [実績値] 508人 〈達成率〉 104%	[目標値] 475人 [実績値] 505人 〈達成率〉 106%	[目標値] 460人 [実績値] 515人 〈達成率〉 112%
	○ かごしま文化工芸村におけるボランティア育成講座の参加者数 (単位:人)		[目標値] 60人 [実績値] 37人 〈達成率〉 62%	[目標値] 60人 [実績値] 60人 〈達成率〉 100%	[目標値] 60人 [実績値] 62人 〈達成率〉 103%
※ 目標値は講座定員数、実績値は受講者数		【決算額】 1,094千円	【決算額】 1,134千円	【決算額】 1,068千円	
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		○	専門的な立場の講師による講座は内容も充実している。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)		◎	社会の様々な課題等を背景にボランティアに対するニーズは高く、また生涯学習で得た技能の活用を求める人も多い。	
	効率性		△	受講者のボランティア意識のあり方に差がある。講座受講後、ボランティアの実践につなげられるような場や体制づくりを進めたい。	
4 課題等	ボランティアを養成した後、学んだことが地域社会で実践につながる場の設定や情報の提供を行う必要がある。 現代社会における課題やニーズを把握し、講座を企画立案する必要がある。				
5 平成22年度予算額	1,359千円	平成22年度の取組み	学んだことを生かす場の設定や紹介を行い、市民のボランティアに対する意識の高揚を図る。		
6 評価	達成度	方向性	評価理由	個人の学びを地域社会に還元することは、個人にとっても地域にとっても有用であり、地域の活性化や連帯感の醸成にも役立つ。今後とも引き続き、講座に工夫改善を加え、より充実した講座を開設することが必要である。	
	A	b			

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ:生涯学習の充実に向けての取組】

(No.8)

事業名	学校支援ボランティア事業	担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員が子どもと向き合う時間を増加させ、住民等の学習成果を活用する機会を拡充するとともに、地域の教育力の活性化を図る。			
	【事業の概要】 平成21年度末の現況 (1)対象校 30小学校(15地域本部) (2)地域コーディネーター数 15人 (3)ボランティア登録者数 2,558人 (4)ボランティア活動回数 6,346回 (5)延べ活動者数 21,487人			
2 主な活動・成果指標	指標名	19年度	20年度	21年度
	学校支援ボランティア事業実施状況 ○実施校数 (単位:校) ○ボランティア登録者数 (単位:人)	事業実施なし	[目標値] 15校 [実績値] 15校 〈達成率〉 100% [目標値]1,200人 [実績値]1,184人 〈達成率〉 99% 【決算額】 22,685千円	[目標値] 30校 [実績値] 30校 〈達成率〉 100% [目標値]2,400人 [実績値]2,588人 〈達成率〉 108% 【決算額】 23,219千円
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)	◎	学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて算数や国語等の学習支援から緑化活動、通学路の見回りといった安心安全の活動等幅が広く、多くの市民が参加している。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)	◎	学校支援ボランティアの登録数が2,500人を超え、対象校の校区民にとって関心が高い事業である。	
	効率性	◎	コーディネーター研修会等を実施することによって、対象校においての実施状況はよい評価を得ている。	
4 課題等	今後、全市的な取組として、市民のひろばやホームページ上での広報を検討していく必要がある。 地域コーディネーターは、就任から2年目以降、担当する学校を地域本部を設置してある学校のほかにもう1校増やすこととしているが、2校の組み合わせをどのようにするか検討を要する。 対象校を小学校だけでなく、中学校まで拡充できるように事業内容の充実を図る必要がある。			
5 平成22年度予算額	41,366千円	平成22年度の取組み	対象校を12校増やし、合計42校にすると同時に、地域コーディネーターも12人増やし、合計27人として、事業を拡充する。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	今年度で3年目になる本事業は、ボランティアの登録者数や活動回数、延べ活動者数とも大きく実績があがっている。今後事業の拡充のため、現状の取組を継続することが最適であると考えられる。
	A	a		

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.9)

事業名	生涯学習リーダーの育成		担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 様々な研修、情報交換、交流等をとおして、地域における生涯学習を推進する団体・組織の中心的な役割を担う人材を育成するとともに、地域の学習者を導き、支援するリーダーやサポーターを育成する。				
	【事業の概要】 (1) 社会学級委員の育成 ・前期、後期社会学級委員等研修会の開催 (2) 社会教育有志指導者の育成 ・PTA指導者(初級)研修会の開催 ・PTA指導者(中級)研修、国内研修への派遣 ・高齢者リーダー(初級)研修会の開催 ・高齢者リーダー(中級)研修会への派遣 (3) 女性教育有志指導者の育成 ・女性リーダー(初級)研修会の開催 ・女性教育指導者(中級)研修会、国内研修への派遣				
2 主な活動・成果指標	指標名		19年度	20年度	21年度
	○ 社会学級委員研修会の実施回数 (単位:回)		[目標値] 14回 [実績値] 14回 〈達成率〉 100%	[目標値] 14回 [実績値] 14回 〈達成率〉 100%	[目標値] 15回 [実績値] 15回 〈達成率〉 100%
	○ 社会教育有志指導者(PTA・高齢者)育成研修の参加者数 (単位:人)		[目標値] 450人 [実績値] 423人 〈達成率〉 94%	[目標値] 450人 [実績値] 443人 〈達成率〉 98%	[目標値] 450人 [実績値] 453人 〈達成率〉 101%
	○ 女性教育有志指導者研修の参加者数(単位:人) ・女性リーダー初級、中級、国内研修		[目標値] 50人 [実績値] 56人 〈達成率〉 112%	[目標値] 50人 [実績値] 42人 〈達成率〉 84%	[目標値] 50人 [実績値] 72人 〈達成率〉 144%
		【決算額】 561千円	【決算額】 423千円	【決算額】 630千円	
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		◎	参加した者が各団体リーダーとなり、校区公民館活動の活性化などにつながっている。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)		◎	研修会参加者が地域の各団体において横のつながりを構築するなど、生涯学習活動の充実に貢献している。	
	効率性		△	各研修会の研修内容の精選と時間配分の検討が必要である。	
4 課題等	各種団体の現状を把握し、課題を明確にするとともに、研修内容の工夫・改善を図り、更に内容の充実に努める。				
5 平成22年度予算額	827千円		平成22年度の取組み	各種団体が実施する研修会との重複を避けつつ、研修内容の精選を図り、参加者増を図る。	
6 評価	達成度	方向性	評価理由	社会学級委員等研修会や社会教育・女性教育有志指導者研修会等を行い、各種団体のリーダーを育成し、それぞれの団体の活性化が図られている。今後更に各種団体の課題を明確にし研修内容の充実に図る必要がある。	
	A	b			

【様式第2】

個別事務事業点検・評価シート

【点検評価対象テーマ：生涯学習の充実に向けての取組】

(No.10)

事業名	関係団体の育成、連携		担当課	生涯学習課	
1 事業の目的、概要等	【事業の目的】 社会教育関係団体をはじめ、生涯学習に関する様々な団体の組織の強化、活動の活性化と充実、相互の連携・協力を促進する。				
	【事業の概要】 (1) PTAの育成 ・PTA連合会への補助 ・PTA活動研究委嘱公開の実施 ・ブロック別家庭教育充実研究公開の実施 (2) 地域婦人会、生活学校、コミュニティづくり会議(生活学校)の育成 ・地域婦人会、生活学校への支援 ・各種研修会の共催、支援 (3) 様々な自主学習グループ、サークル等の育成 ・生涯学習プラザ、地域公民館等における育成、支援研修会、発表会等の支援 ・おやじの会の活動支援				
2 主な活動・成果指標	指標名		19年度	20年度	21年度
	○ PTA活動研修委嘱公開、ブロック別家庭教育充実研究公開の実施回数(単位:回)		[目標値] 7回 [実績値] 7回 (出席者1,986人) 〈達成率〉 100%	[目標値] 7回 [実績値] 7回 (出席者1,620人) 〈達成率〉 100%	[目標値] 7回 [実績値] 7回 (出席者1,603人) 〈達成率〉 100%
	○ 地域婦人会、生活学校、コミュニティづくり会議の団体数(単位:団体)		[目標値] 24団体 [実績値] 24団体 〈達成率〉 100%	[目標値] 24団体 [実績値] 23団体 〈達成率〉 95.8%	[目標値] 24団体 [実績値] 21団体 〈達成率〉 87.5%
	○ おやじの会の組織数(単位:団体)		[目標値] 117団体 [実績値] 95団体 〈達成率〉 81.1%	[目標値] 117団体 [実績値] 98団体 〈達成率〉 83.7%	[目標値] 117団体 [実績値] 103団体 〈達成率〉 88%
			【決算額】 11,026千円	【決算額】 11,190千円	【決算額】 11,869千円
3 平成21年度末における事業の成果・達成状況	有効性(達成度)		△	社会教育関係団体の研修会への共催、支援をすることによって、各団体の組織の強化、会員の資質向上につながっているが、地域婦人会の育成が課題である。	
	必要性(市民ニーズとの適合性)		○	各団体の会員数が減少する中、組織の強化に向けて研修会等を共催、支援することができた。	
	効率性		◎	各団体の現状や課題を明確にするとともに、研修会等の内容の充実を図ることができた。PTAにおいてはその活動が高く評価され九州・全国で表彰されたPTAがある。	
4 課題等	各団体の会員数が減少傾向にある。PTAについては児童・生徒数が減少していることが原因であるが、地域婦人会等の女性団体については地域の地縁的な関係が薄れてきているという社会的な流れもある。今後、各団体の新規加入者の確保が必要である。各研修会等の内容の充実を図り、組織の強化や会員の資質向上を図る必要がある。				
5 平成22年度予算額	12,077千円	平成22年度の取組み	関係団体の育成に努めるとともに、連携を深め、各団体の活動の活性化を図る。		
6 評価	達成度	方向性	評価理由	地域の連帯感が希薄になりつつある中、地域を基盤とする社会教育関係団体の育成は重要な課題である。地域婦人会等の女性団体をはじめとして、今後も各団体の組織強化のため支援する必要がある。	
	B	a			

【様式第3】

教育行政評価会議意見聴取報告シート

	点検評価対象テーマ	担 当 課
	生涯学習の充実に向けての取組	生涯学習課 青少年課
担当課による評価に対する意見	<p>(1) 生涯学習の在り方 社会教育法の施行以来60年以上が経過した今日、住民の生涯学習への認識は高まり、公民館講座の受講や社会経験の蓄積等によって高い知識や経験を有する住民が地域社会には増えている。一方で、個人のライフスタイルや価値観も大きく変化し、地域社会の自治組織である町内会やあいご会、また婦人会などの中には、組織の次期リーダー育成や活動参加者の確保などに苦労している地域も多く見られるが、地域公民館活動や校区公民館活動などをとおして人づくり、まちづくりに生涯学習がどのように関わるのか、市としての方向性を示してほしい。</p> <p>(2) 学習機会の充実 ア 地域公民館などにおける「学ぶ」取組については、努力のあとがみられ、その実施状況は高い水準にあると言える。ただ、一部講座では応募が少なかったり、応募者の固定化も見えることから、例えば対象者を一般向けから特定の者に絞り、内容も対象者が興味を引くような仕様に特化し、開催時間も対象者のニーズに合わせてるとともに、講座名のつけ方や募集チラシの表現方法にも工夫をすれば、ニーズの掘り起しが期待できる。 イ 講座利用の少ない若い世代向けに魅力ある企画を立案するために、若い感性を持った職員にも参加してもらうことが必要である。 ウ 生涯学習の各施設が魅力ある施設づくりを進めるにあたり、生涯学習に係る各施設長が協議する会議があっても良い。また、講座を探している住民へのサービスを高めるために、各施設で実施する講座一覧表を作成し壁に張り出したり、ホームページに掲載したりしてほしい。 エ 校区公民館の成人学級については、校区公民館運営審議会の関係者が魅力ある運営に努めているが、毎年度、継続開催することに苦労している学級もある。学級の開催回数や対象テーマの絞り方など、もう少し柔軟な運営ができるようにすることで、多くの住民にとって参加しやすい内容になると思う。</p> <p>(3) 学習成果の活用 ア 生涯学習で学んだ知識や技能を地域活動で生かせるシステムづくりは、生涯学習の活性化に繋がる。学習した人がどんなボランティア活動ができるのかを把握し、地域が求めるボランティアを生涯学習で学んだ人に紹介できるようなシステム作りが必要である。 イ 地域のお達者クラブ等は、ボランティアの支援を歓迎している。また、活動を軌道に乗せ切れていない団体なども、適確な指導支援ができれば活性化できることがある。地域に足を運び、実情を知り、ニーズも把握し、それに見合ったコーディネートや支援ができることが大切である。 ウ P T A活動は、社会教育の学習の場であるとともに実践の場としても有効であり、その経験は地域のまちづくりに有効に生かせるものがある。P T A活動に弱体化の傾向が見受けられるので、P T Aへの指導支援を検討して欲しい。 エ 学校支援ボランティア事業に、保護者の参加を促進できれば、学校側に有益であるだけでなく、保護者にとっても良い経験となる。</p>	

教育行政評価会議意見聴取報告シート

	点検評価対象テーマ	担 当 課
	生涯学習の充実に向けての取組	生涯学習課 青少年課
担当課による評価に対する意見	<p>(4) 推進体制の充実</p> <p>ア 地域公民館には、地域の特性を生かした運営をさらに進めて欲しい。そのためには、地域の方々が委員になっている公民館運営審議会の年間開催回数を2回から3回に増やすなど活性化を図る必要がある。また、地域における生涯学習活動の拠点である地域公民館と校区公民館の、地域における位置づけを明確にして、さらに多くの地域住民にそれを知ってもらう必要がある。</p> <p>イ 地域公民館が、もっと開かれた公民館となるために、地域住民が気軽にやって来て、住民同士で話ができる場あれば良い。また、職員が来館者と気軽に話をして住民のニーズを知る機能があっても良いと思う。</p> <p>ウ 地域公民館が校区公民館や自治公民館（町内会）と連携を図り、情報交換を図ることで、それぞれが有するノウハウや経験を共有できるとともに、課題への対応についても解決の糸口を見つけるきっかけとなる。また、研究指定の公民館を1館選定し、先駆的取組を研究させてみてはどうか。</p> <p>エ 地域における生涯学習活動の活性化と、まちづくりへの貢献として地域イベントの開催がある。充実したイベントとなるには、企画段階から地域の各団体の参画が必要であり、日頃からの地域公民館、校区公民館、町内会その他各団体の横の繋がりが重要になってくる。地域公民館には、講座による「学ぶ」機能に加え、地域を「結ぶ」機能についても取り組んで欲しい。</p> <p>オ 学校が地域とのかかわりの中で社会教育面においても十分な役割を果たしていくには、校長や教頭など学校の管理職のリーダーシップがとても大切であり、その意識付けをさらに推進して欲しい。</p>	

教育委員による二次評価

	対象テーマ	生涯学習の充実に向けての取組
教育行政評価会議の意見等を踏まえた提言等		<p>1 生涯学習に取り組む人を一層増やすための取組</p> <p>(1) 生涯学習に取り組む人を増やすことについては、これまでの取組によって一定の成果が出ている。一層の拡大を目指すには、生涯学習にまだ目覚めていない人をいかにして把握し、学習活動や運動への参加をいかに促すかという取組が必要になり、それには次のステップへの飛躍を要する。 本市の生涯学習のレベルをステップアップさせるための工夫を検討してほしい。</p> <p>(2) 地域公民館の利用者は増加傾向にあるが、生涯学習プラザの利用者は微減傾向にある。利用者を増やすための対策として、生涯学習プラザが本市生涯学習の中核施設であることも踏まえて、講座内容等の水準を高めることが考えられる。生涯学習には生きがいづくりや健康づくりとしての一面と、自己実現の手段としての一面がある。健康づくりや語学学習などは、民間事業者も力を入れている分野であり、重複しないための配慮も必要となるが、新たなニーズの掘り起こし策として、自己実現を達成させるための高いレベルの学習ができる講座の開設について研究してほしい。</p> <p>(3) 各種講座を開設し、多くの利用者を集めているが、ニーズの高い講座の開設に努めるばかりでなく、必ずしもニーズが高くないでも行政としての目的を達成するための講座もあるべきと考える。例えば、鹿児島市は市民との協働をまちづくりのテーマに掲げているので、まちづくりへの市民参画やボランティアの育成などをテーマにした講座がもっとあってよいと思う。また、地域の特徴を生かすという意味で、住民がその土地のことを深く学ぶための企画などもあってよい。</p> <p>(4) 市内に14館ある地域公民館は、築後30年を超える施設が半数以上ある。最も新しい施設である谷山北公民館の利用者が、他の公民館よりも多い実態を考えると、ハード面の整備は生涯学習を推進するうえでかなり有効であると思われる。施設整備は、財政上の都合で一気に進めることは困難であることから、計画的な施設整備に努めていただきたい。</p> <p>2 利用機会の均等化</p> <p>地域公民館などにおいては、利用申込があっても、既に定員に達するなどしてお断りしているケースがある。特に初めての人が利用できるように、利用者が固定化していないかを点検してほしい。特定の人が繰り返し利用していることで、他の人が利用できず、利用者の拡大に歯止めがかかっているのならば、利用機会の均等化のために何らかの対策を講じてほしい。</p> <p>3 若い世代の利用活性化</p> <p>生涯学習プラザや地域公民館の利用者をみると、年齢分布に偏りがあるようで、どちらかといえば高齢者の方が多い。周知広報の手段として市民のひろばとインターネット等が考えられるが、若い世代はインターネットを使って情報収集している人が多い。若い世代の生涯学習への取組を活性化するために、インターネットを使った広報を工夫してほしい。</p> <p>また、本市には若い世代が使いやすい施設として勤労女性センターや勤労青少年ホームがあり、これら施設は学習の場としての役割のほか、同世代の仲間が会う場としても非常に有効であることから、これら施設のPRについても一層の工夫をしてほしい。</p>

教育委員による二次評価

対象テーマ	生涯学習の充実に向けての取組
4	<p>地域公民館と校区公民館の連携</p> <p>本市は、校区公民館という独自の施設を有し、住民による自主的な生涯学習活動の拠点として地域に根付いている。また、子ども会の育成や校区文化祭、校区運動会の開催など地域におけるまちづくり活動の拠点としても成果をあげている。</p> <p>従来、教育委員会や学校は、住民の自主性を尊重し、活動の場となる施設の提供や活動費の助成など校区公民館運営審議会に対する側面的な支援を中心に施策の展開を行ってきたが、住民の生涯学習への機運の高まりを、まちづくり活動の活性化に結びつける取組を考えてもよい時期にきている。</p> <p>学習機能(人材の育成)や自主学習グループとの関わりなどを有する地域公民館と、住民の活動の場となっている校区公民館の、地域活性化に向けた連携の在り方について、モデルとなる地域公民館を指定して研究してほしい。</p>
総 評	<p>生涯学習に対する市民ニーズは、各施設の利用状況などから、かなり高いことがうかがえ、関連施策の充実に向けた取組は、本市教育行政を推進していく上で重要な柱であると考えられる。</p> <p>これまでの取組を振り返ると、地域公民館に始まり、勤労青少年ホーム、勤労女性センター、生涯学習プラザ、かごしま文化工芸村等と、教育の目的や市民ニーズの高まりに対応して各種施設の整備を進め、平成20年度には全ての小学校区に校区公民館を設置することができた。</p> <p>今後は、これら各施設における事業の質を向上させ、いかにして市民ニーズに応えた取組を展開していくかが重要となってくる。そのためには、地域の教育関係者や学識経験者が委員となっている公民館運営審議会や校区公民館運営審議会等の機能を活性化させ、事業の企画力を向上させていく必要がある。</p> <p>また、学校支援ボランティア事業は、教師が児童生徒と向き合う時間を増やす効果や授業の質の向上、きめ細かな施設管理など学校にとっての利点は勿論のことであるが、参加者の生きがいづくりにもなり、学校と地域住民の関わりを深めるなど地域コミュニティの育成にも役立っている。</p> <p>地域住民の多様な才能を伸ばすことができる生涯学習の推進は、教育行政評価会議からの意見にあるように、地域におけるまちづくりを活性化させる有効手段でもあることを踏まえ、ボランティアの育成や学校支援ボランティア事業の全校実施に向けて努力していただくとともに、今後とも、生涯学習施策の総合的な推進に努めていただきたい。</p>

教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理及び執行の状況について自ら実施する点検及び評価に関し、必要な事項を定めるものとする。

(評価の基本的なあり方)

第2条 教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、的確にその施策効果を把握し、その目的又は目標に照らして、必要性、有効性、効率性、公平性の観点その他当該施策の特性に応じた必要な観点から点検及び評価を行い、その評価の結果を当該施策に適切に反映させるものとする。

2 教育委員会は、前項の規定に基づく点検及び評価の実施に当たっては、客観的な実施の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用する。

3 前項に規定する学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育行政評価会議を設置するものとし、必要な事項は別に定める。

(評価の基本的な事項)

第3条 教育委員会は、点検及び評価の実施に当たり、次に掲げる事項を協議し決定する。

- (1) 点検及び評価の対象に関すること。
- (2) 点検及び評価の実施方法に関すること。
- (3) 点検及び評価の対応方針等の決定（以下「結果」という。）に関すること。
- (4) 点検及び評価の結果の施策への反映に関すること。
- (5) 点検及び評価の結果の公表に関すること。
- (6) その他点検及び評価の実施に関し必要なこと。

(報告書の作成及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を行ったときは、その結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により作成した報告書を市議会に提出するとともに、公表するものとする。

(市民の意見及びその反映等)

第5条 教育委員会は、公表した報告書について市民から意見があった場合には、施策又は点検及び評価に適切に反映させるように努めるものとする。

(点検及び評価の改善の検討)

第6条 教育委員会は、毎年度、点検及び評価のあり方について検証を行い、その課題を把握し、鹿児島市の行政評価の動向も参考としながら、その改善について検討を行う。

(委任)

第7条 この要綱に規定するもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年5月22日から施行する。

教育行政評価会議設置要領

(趣旨)

第1条 教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱（平成20年5月22日制定）第2条第3項に規定する教育行政評価会議（以下「評価会議」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 評価会議は、教育委員会の求めに応じて、次の各号に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会の点検及び評価の方法に関すること。
- (2) 教育委員会の担当課が実施した点検及び評価の一次評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価会議は、5名以内の委員で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱してから教育委員会が点検及び評価の結果を公表するまでの間とする。
- 4 評価会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 5 会長は、評価会議の会務を総理し、評価会議を代表する。
- 6 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 会議は、会長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、関係職員その他会長が適当と認める者を会議に出席させ、関係事項について説明させ、又は意見を述べさせることができる。

(庶務)

第5条 評価会議の庶務は、教育委員会事務局管理部総務課において処理する。

(委任)

第6条 この要領に規定するもののほか、評価会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要領は、平成20年5月22日から施行する。